

<謝辞>

本報告において、本種同定等に関わりご指導、ご助言賜りました京都教育大学名誉教授松良俊明先生、京都大学教授松浦健二先生、京都大学大学院生小西堯生氏、箕面公園昆虫館館長中峰空氏、京都府内の第一発見者でありご連絡くださった池上拓人氏、追調査の採集でご協力頂いた京都市青少年科学センター主任主事辻礼史先生には心より感謝を申し上げます。

○文献

日本直翅類学会（編），2016. 日本産直翅類標準図鑑. 384pp. 学研プラス，東京.
岡田正哉，2008. 昆虫ハンターカマキリのすべて. 63pp. トンボ出版，大阪.

(Hiroki IMAMURA 京都市青少年科学センター
指導室 生物領域)



図1 サツマヒメカマキリの幼虫 京都市右京区, 2020年12月19日.



図2 後腿脚内側前方に見えるひれ状の突起.

兵庫県淡路市でホシミスジの2例目を確認

矢口芽生

ホシミスジ *Neptis pryeri* は、ユキヤナギやコデマリなどが庭先や公園に植栽されたことにより、人為的に作られた環境にも進出し定着しつつあるタテハチョウ科の一種で本州、四国、九州に分布するが、淡路島には分布していなかった。しかし、2003年に淡路市岩屋で植栽されたユキヤナギから幼虫と蛹の羽化殻が確認され（伊藤2004）、2004年には洲本市五色町都志と南あわじ市沖ノ島で確認されるなど、人為的要因により淡路島に分布を拡大している。



図 淡路市産ホシミスジ

筆者は、2020年に兵庫県淡路市の岩屋以外で本種の成虫を確認したため、報告する。4地点全てにユキヤナギが植栽されていたことから、このユキヤナギに付着して侵入したものとする。

【採集データ】

確認場所：兵庫県淡路市野島常盤

確認日：2020年6月15日，7月15日，8月15日，8月30日

確認場所：兵庫県淡路市富島

確認日：2020年5月21日

確認場所：兵庫県淡路市多賀

確認日：2020年9月29日

確認場所：兵庫県淡路市生穂新島

確認日：2020年5月25日

○参考文献

伊藤寿，2004. 兵庫県淡路島でホシミスジを採集. 蝶研フィールド, 19 (2) : 28.

(Mei YAGUCHI 東京都練馬区)